

品番 光天井FY4021

保管用

(一般屋内用)

非常用照明器具 (電池内蔵型)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

取付前のご確認事項

・この器具は次の取付枠と組み合わせてご使用ください。

	品 番		
組合せ品番	光天井FY4021		
灯具品番	FYY24021		
下面パネル品番	FYY80070		
取付枠品番 (別売)	FYY80071 (単体用)	FYY80072 (2台用)	FYY80073 (3台用)
	FYY80074 (4台用)	FYY80076 (6台用)	FYY80079 (9台用)

安全に関するご注意

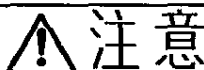
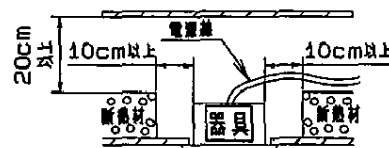


警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実にこなう。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の改造は、絶対に行わない。感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧 (定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数以外の電源で使用しない。
感電・火災の原因となります。
- 取付ボルトは器具の質量 (53.7Kg) に十分耐えるように補強を行なう。
強度が不十分な場合、落下の原因となります。
- 傾斜天井・壁面への取付はしない。落下の原因となります。
- この器具は専用の取付枠との組み合わせ以外で使用しない。落下の原因となります。
- この器具は天井埋込専用です。断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
- 端子台の容量は20Aです。10台以上は送り配線しない。感電・火災の原因となります。



器具は、断熱材・防音材・遮音材等と
下図のような空間を設けて施工してください。

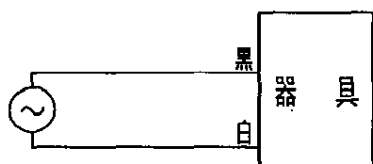


注意

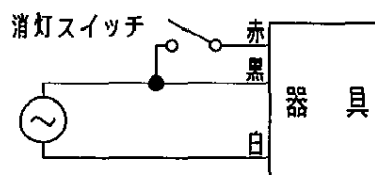
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃以外では、使用しないでください。蓄電池の劣化やちらつきや短寿命及び非常点灯しない原因となります。

配線種類

・常時消灯しない場合 (2線式)



・常時消灯する場合 (3線式)

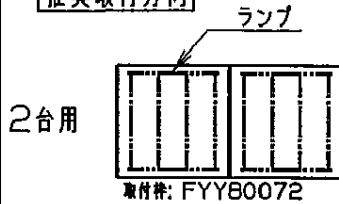


(端子台の赤色短絡線を取外す)

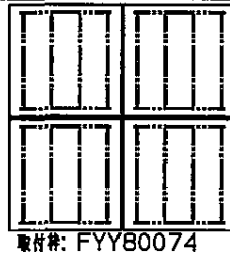
連結取付の場合

●連結取付の場合、ランプの向きに注意してください。

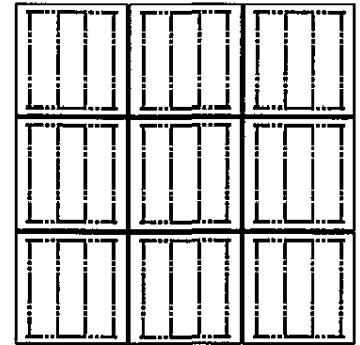
推奨取付方向



4台用



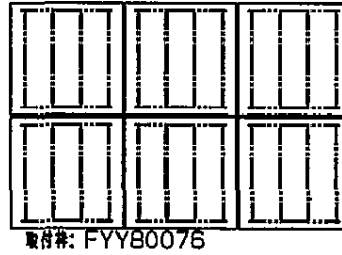
9台用



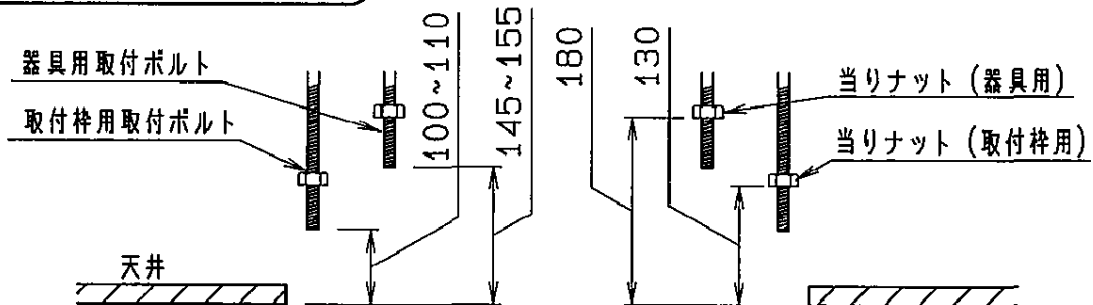
3台用



6台用



天井切込穴寸法とボルト位置

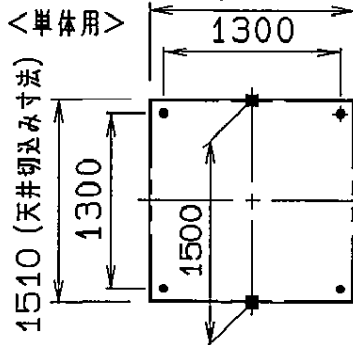


- 器具用取付ボルトと取付棒用取付ボルトは長さが異なりますのでご注意ください。
- 器具用取付ボルトは、天井表面より145~155mm程度にしてください。
- 取付棒用取付ボルトは、天井表面より100~110mm程度にしてください。
- 取付棒の当りナットの位置は的確に配置してください。施工後の外観に影響します。

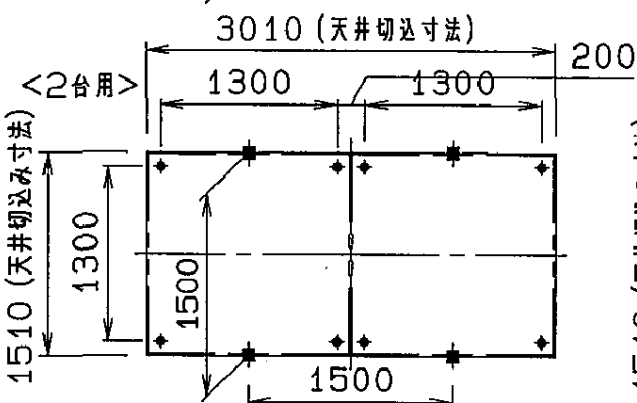
- 印: 器具用取付ボルト
- 印: 取付棒用取付ボルト

1510 (天井切込み寸法)

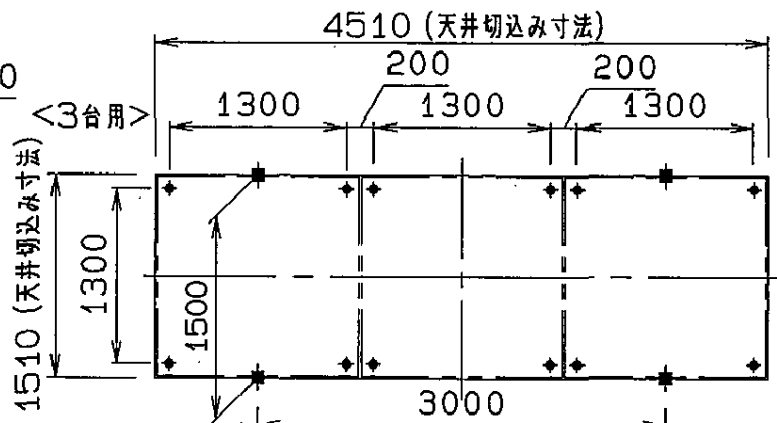
<単体用>



天井切込寸法	1510×1510
器具用取付ボルト	4本
取付棒用取付ボルト	2本



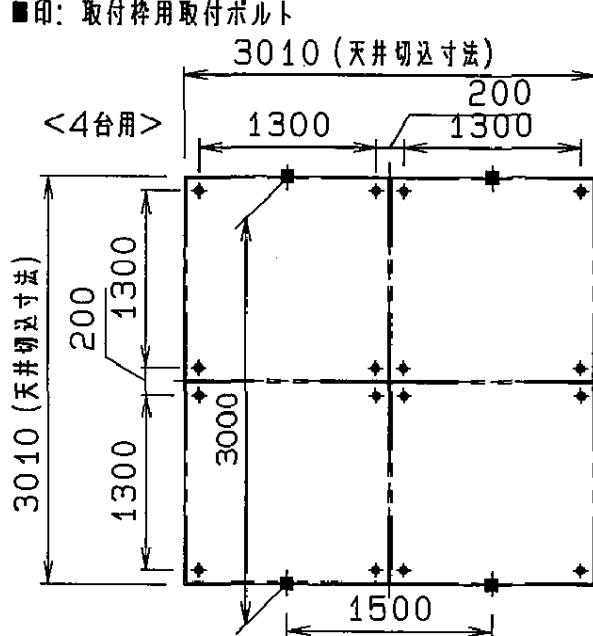
天井切込寸法	1510×3010
器具用取付ボルト	8本
取付棒用取付ボルト	4本



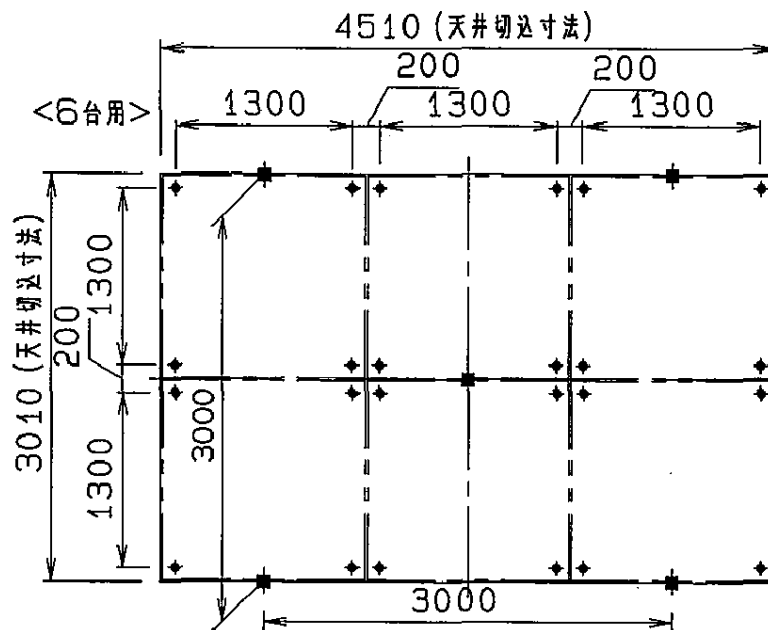
天井切込寸法	1510×4510
器具用取付ボルト	12本
取付棒用取付ボルト	4本

天井切込穴寸法とボルト位置

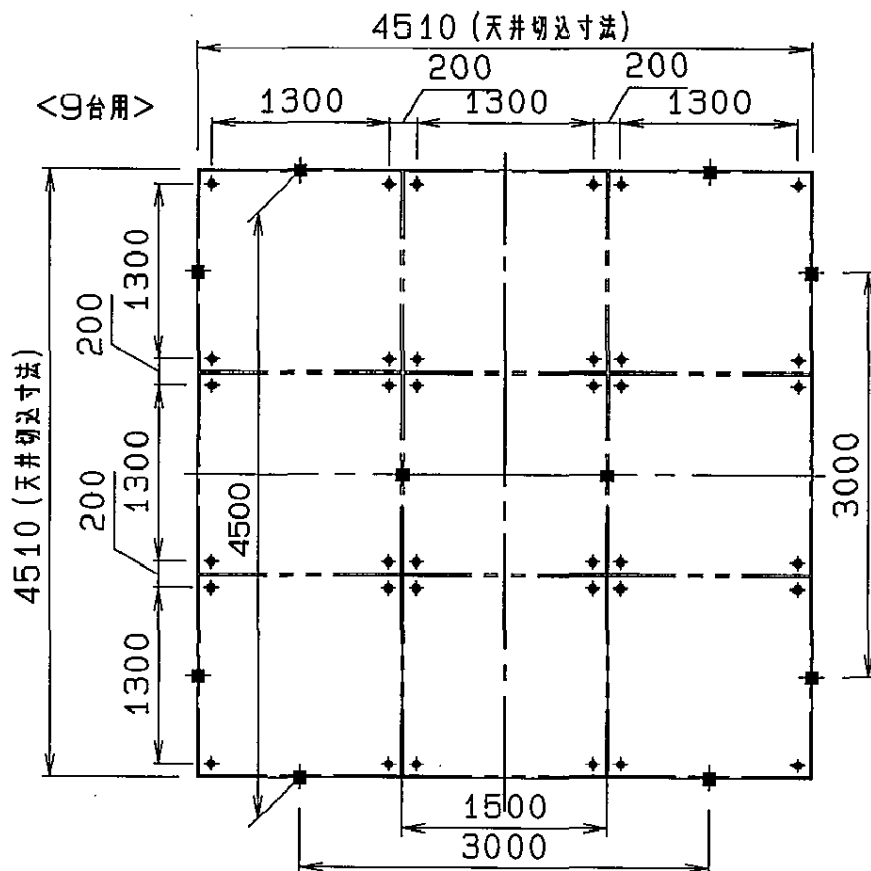
- 印: 器具用取付ボルト
- 印: 取付枠用取付ボルト



天井切込寸法	3010×3010
器具用取付ボルト	16本
取付枠用取付ボルト	4本



天井切込寸法	3010×4510
器具用取付ボルト	24本
取付枠用取付ボルト	5本

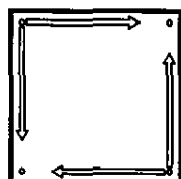


天井切込寸法	4510×4510
器具用取付ボルト	36本
取付枠用取付ボルト	10本

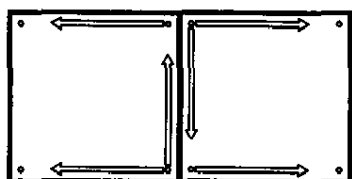
取付ボルト補強例

●取付ボルトは器具質量 (53.7kg) に十分耐えるように補強を行なってください。

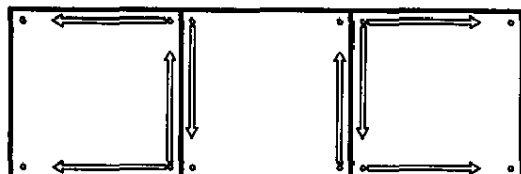
●⇒は補強の位置および方向を示します。



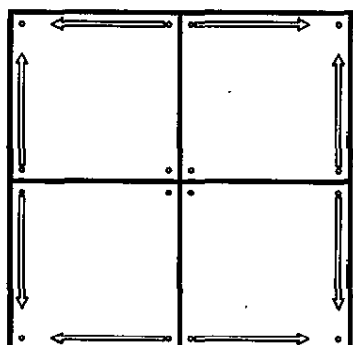
<単体用: FYY80071 使用時>



<2台用: FYY80072 使用時>

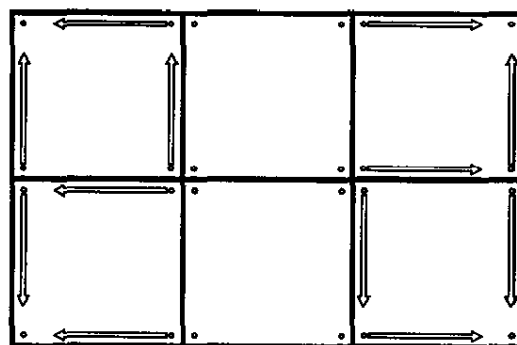
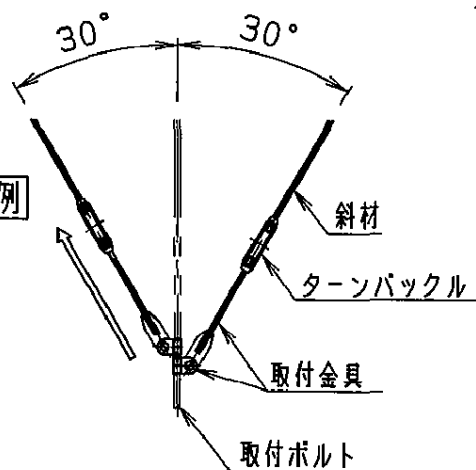


<3台用: FYY80073 使用時>

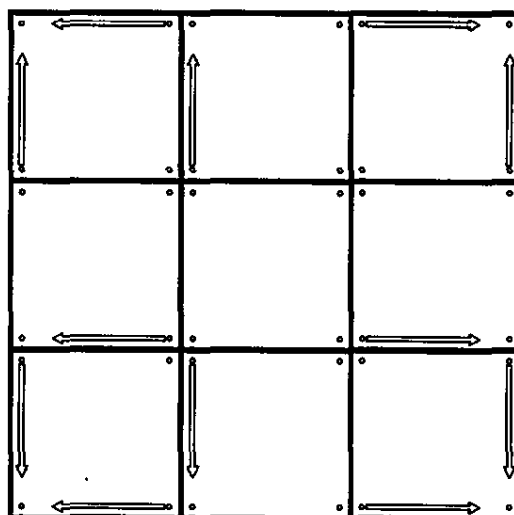


<4台用: FYY80074 使用時>

取付ボルト補強例

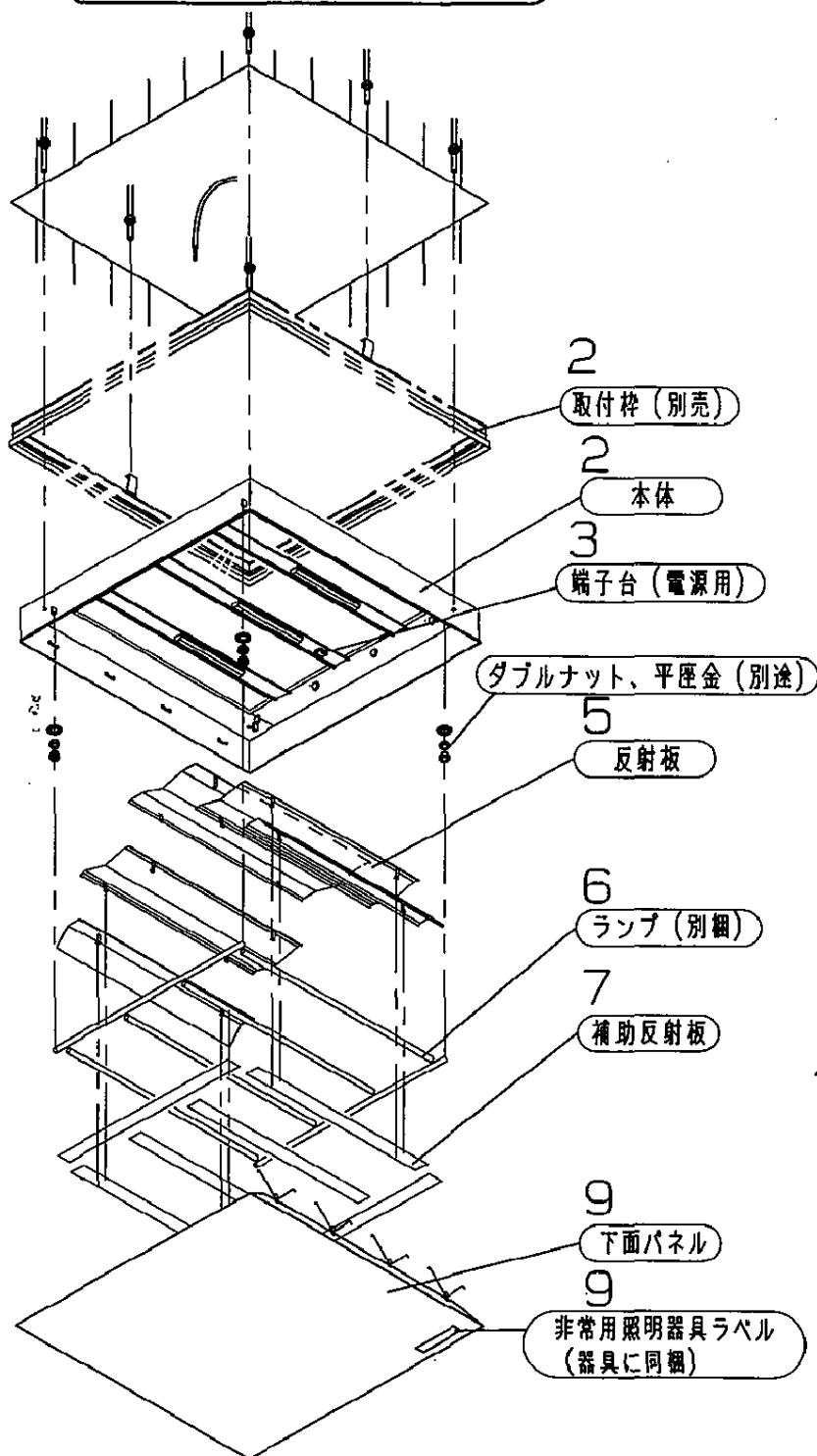


<6台用: FYY80076 使用時>



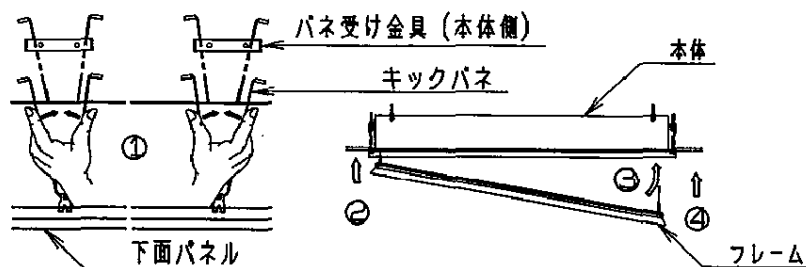
<9台用: FYY80079 使用時>

各部のなまえと取付けかた



9. 下面パネルの取付

- ・下面パネルについているキックパネをパネ受けに引っ掛ける。
 - ・下面パネルのもう一方についているキックパネをパネ受け金具に引っ掛ける。
 - ・下面パネルのフレーム部をつかみ、本体に密着させる。
- 取付が不完全な場合、下面パネル落下の原因となります。
- ・同梱の非常用照明器具ラベルを下面パネルのコーナーに貼付ける。



1. 取付前の確認

- ・天井切込穴および取付ボルトを準備しておく。
<天井切込寸法とボルト位置参照>
取付ボルトはW3/8又はM10を使用する。
不備があると器具落下の原因となります。
- ・器具の方向性を確認しておく。

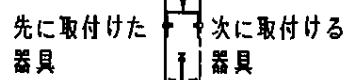
2. 本体の取付

- ・事前に別売の取付枠を取付けておく。
<取付枠の取扱説明書を参照>
- ・本体の反射板(5枚)、補助反射板(6枚)を外す。(その他の部品は外さない)
- ・本体を持ち上げる。(3人作業を推奨致します。)
- ・本体を取付ボルトに確実に取付ける。
不備があると器具落下の原因となります。
(推奨トルク値1.5N・m)
- ・器具が水平に取付いているかを水準器等を用いて確認する。

連結仕様の場合

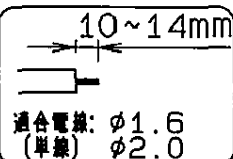
※連結の場合は先に取り付けた器具に連結金具を取り付けてください

連結金具 (取付枠に同梱)



3. 電源線の接続

- ・電源線を端子台に確実に差し込む。
- ・□種(第3種)接地工事が必要。
- ・端子台の容量は20Aです。
接続が不完全な場合や
容量オーバーの場合、
火災の原因となります。



4. 蓄電池コネクタの接続

- ・常用電源通電後、蓄電池コネクタを接続する。
 - ・方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
- 接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

5. 反射板の取付

- ・反射板取付ネジは+ドライバーで確実に締め付ける。
- 取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

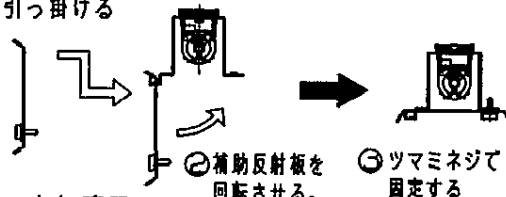
6. ランプを確実に取付ける

取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

7. 補助反射板の取付

- ① 金具に補助反射板を引っ掛ける。
- ② 補助反射板を回転させる。
- ③ ツマミネジで固定する。(2箇所)

①引っ掛ける



8. 点灯確認

- ・電源通電状態でランプおよびモニターランプが点灯するか確認する。
- ・点検スイッチを引き、非常点灯を確認する。
(モニターランプは消灯します。)

正常に動作しない場合は、**故障かな?と思ったときは**の項を参照してください。

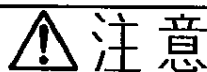
・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具を改造しない。感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



注意

- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。火傷、感電の原因となります。電池内の液は皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

使用上のご注意

- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し対策を講じて下さい。

保証について

- ・保証について-----この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
ランプ・グロー点灯管・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・補修用性能部品の-----弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しております。
保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

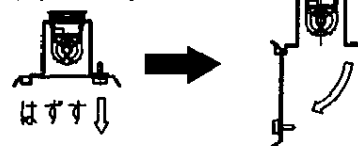
お手入れ・部品交換

- 器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ランプ交換について・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。（パナソニック製ランプをご使用ください）

HF蛍光灯ランプ	蓄電池
FHF32EX-N-H	FK748 (7.2V 3000mAh)

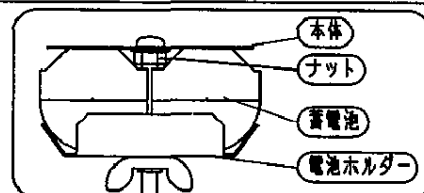
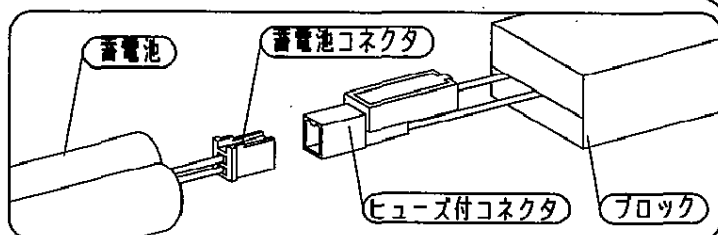
1. 下面パネルを取りはずす。
2. 補助反射板を取りはずす。
3. ランプを交換する。
4. 補助反射板を取付ける。
5. 下面パネルを取付ける。

【ランプの交換方法】



- ・蓄電池交換方法・・・下図を参照のうえ確実にこなしてください。

- 1 反射板をはずす。
(下面パネルの取外し方は、ランプ交換方法を参照ください)
- 2 蓄電池を交換する。
・蓄電池コネクタを抜く。
・ナットと電池ホルダーをはずし、蓄電池を交換する。
- 3 蓄電池を取付ける。
・はずした手順と逆の手順で確実に取付ける。
・電池ホルダーでリード線をきずつけないこと。
・感電・火災の原因となります。
・蓄電池コネクタは確実に差し込む。
・接続が不完全な場合、非常点灯不点灯の原因となります。
- 4 反射板を取付ける。
・はずした手順と逆の手順で確実に取付ける。
- 5 点灯確認
・電源通電状態でランプおよびモニターランプが点灯するか確認する。
・点検スイッチを引き非常点灯を確認する。



◆定期点検 3ヶ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヶ月に1回は、必ず非常灯持続時間（30分以上）、切替動作などの機能点検を合わせて行なってください。

◆設置年月日 年 月 日 ◆取付場所 ◆器具No.

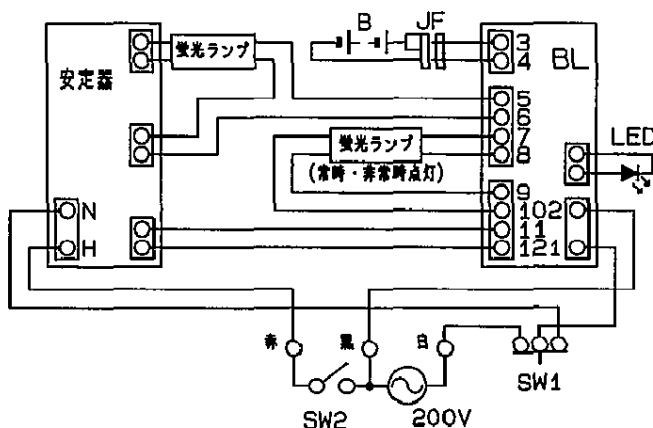
点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな?と思ったときは

表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
常時、蛍光ランプが点灯しない	蛍光ランプの寿命 消灯スイッチOFF	ランプ交換する スイッチをONする
非常点灯しない	蓄電池コネクタはずれ AC電源が通電状態となっていない	コネクタ接続する AC電源を通電状態とする
短時間しか点灯しない (30分未満)	蓄電池の充電不足 (保管時の自然放電や、施工時の放電など) 蓄電池の寿命	48時間以上充電する 蓄電池交換する
モニターランプが点灯しない	蓄電池コネクタはずれ	コネクタ接続する

器具定格・接続図（非常灯部分のみ）



記号・名称

BL: 非常灯ブロック
SW1: 点検スイッチ
SW2: 常時点灯スイッチ
JF: ヒューズ付コネクタ
B: 蓄電池Ni-MH
LED: モニターランプ
(発光ダイオード)

<定格値>

起動方式	PH2
定格電圧	AC200V
ランプ	FHF32EX
入力電流	1.36A
入力電力	268W



NI-MH

この器具には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニッケル水素電池の交換、およびご使用済製品の破棄に際してはニッケル水素電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

パナソニック株式会社 施設・店舗照明ビジネスユニット (〒571-8686) 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先 パナソニックお客様相談センター 0120-878-365 (フリーダイヤル) 0120-878-236 (FAX)
S1207-041211